

商業會議所法案特別委員會會議事速記録第一號

(五九)

委員氏名

委員長 伯爵坊城 俊章君 副委員長 子爵青山 幸宜君

委員

子爵永井 尙敏君 名村 泰藏君 富田 鐵之助君
藤田 四郎君 武井 守正君 高橋 新吉君
田中 源太郎君

明治三十五年三月三日(月曜日)午後零時五十三分開會

○委員長(伯爵坊城俊章君) ツレデハ開會ヲ致シマス

○富田鐵之助君 此提出ニナリマシタ商業會議所法案ノコトニ付テドウカ大體ヲ、政府委員ノ説明ヲ願ヒマス

○政府委員(木内重四郎君) 此法案ヲ提出イタシマシタ大體ノ理由ヲ説明イ

タシタイト思ヒマス、商業會議所條例ハ御承知ノ通り明治二十三年ニ發布イ
タシマシタ法律デ、其後二十八年ニ一部ノ改正ヲ加ヘマシタモノデアリマ
ス、然ルニ其後商法ノ改正ガアリマシタ、又營業稅法ノ發布ガアリマシタ、
然ルニ此現行ノ商業會議所條例ニ於テハ會議所ヲ組織スル人即チ選舉權者及
被選舉權者ノ資格ヲ舊商法ノ規定ニ據ッテ定メテアリマスルノデ、商法ガ既
ニ改正ニナッタ以上ハ當然之ヲ改メナケレバナラヌモノデアラウト思ヒマ
ス、併ナガラ商法施行法ノ規定ニ依リマシテ他ノ法律、例ヘバ商業會議所條
例ノ如キモノニ舊商法ノ規定ガ引用セラレテ居ルナラバ其改マルマデハ尙ホ
舊商法ノ規定ハ效力ヲ有スルト云フコトニナッテ居リマスカラ、改マルマデ
ノ間ハ法律トシテ效力ヲ有シテ居ルコトハ無論デアリマスガ、是ハ早晚改正
シナケレバナラヌト云フコトハ明白デアリマス、ツレカラ商業會議所ヲ組織
スル人ノ資格ハ商業工業ノ營業者デ財産ノ相當ニ有ル者デナケレバナラヌ、ツ
レハ其地區内ノ商業工業ノ一般ノ利益ヲ圖ル爲ニ調査ヲ致シ又方案ヲ議定スル
ト云フ職責ヲ持ッテ居ル者デアリマスカラ、極資產ノ乏シイ其日暮シノ商人
マデ入レルト云フコトハ必要ノ無イコトデアリマス、ツレデ財産ノ資格ヲ何
ニ據ッテ見ルカト云ヘバ、會社ノ如キモノニアッテハ資本ヲ以テ見ルノガ宜シ
ウゴザイマセウガ、一個人デアアルナラバ商業工業ノ營業者ニ賦課スル稅
ニ依ッテ之ヲ見ルノガ一番見易イ標準デアラウト思ヒマス、然ルニ現行ノ法
律デハ其財産ヲ見ル標準ヲ所得稅ニ致シテ居リマスガ、是ハ寧ろ營業稅ニス
ルノガ當然デアアル、當時所得稅ハアツタケレドモ營業稅ト云フモノガアリマ
センデシタカラ已ムヲ得ズ所得稅ニシテ置イタニ過ギナイノデアリマス、營
業稅法施行後數年ナル今日ニ於テ尙ホ所得稅ニ依ッテ資格ヲ定ムルコトハ不
適當デアルト考ヘマス、其他會議所ノ權限ニ付テハ唯法案ヲ議定スルト云フ
コトデ、執行ヲスル權限ノ無イノハ不備デアアルカラ商業工業ノ利益ヲ増進スル

爲ニ必要ナル事柄ハ執行スルコトニ致シタイト云フコトハ各地商業會議所ノ
一般ニ希望スル所デアリマシタ、然ルニ現行ノ法律ニハ其規定ガアリマセヌ、
是ナドハ無論不備ナル事柄デアラウト思ヒマス、ツレカラ現行法ニ於テハ經
費ヲ賦課徵收スル權限ヲ會議所ニ附與シテ置キナガラ、滯納シタ者ノ處分規
定ガ缺ケテ居リマスノデ、各商業會議所ハ一般ニ困難ヲシテ居リマシタ、最初
滯納者ノアツタ場合ニ、是ハドウ云フ手續ニ依ルモノデアアルカト云フコトヲ會
議所カラ農商務省ニ伺ッテ參リマシタ節ニ、ツレハ民事訴訟トシテ裁判所ニ
訴ヘルヨリ外仕方ガ無イト云フコトヲ農商務省ノ方カラ答ヘマシタガ、裁判
所ノ方デ之ヲ受理セヌノデアリマス、是ハ民事事項デナイト云フノデア受理イ
タシマセヌカラ滯納者ガ多クアツタ場合ニハ其會議所ハ非常ニ迷惑ヲ感ズル
譯デアリマス、併ナガラ既往ノ經歷ニ徵スルニ多數ノ滯納者モナク巨額ノ滯
納金額モアリマセンデシタカラ、先ヅツレデ事務モ格別ニ滯滯ヲセズニ行ハ
レテ參ッタノデアリマスルガ、追々ニハ理窟ヲ言フ者ガ多クナリマスノデ、如
何ニシテ之ヲ徵收スルカト云フ規定ガ無イ以上ハ、殆ド全部ガ舉ッテ滯納シタ
場合ニハ會議所ノ行動ハ茲ニ止マルト云フ結果ニナリマスカラ、經費徵收ノ
規定ハドウシテモ十分ニ規定シテ置カネバナラヌコトデアラウト思フノデア
リマス、ツレカラ選舉方法ガ現行法ニ於テハ普通平等ノ選舉方法デ畫一ニナッ
テ居リマスルガ、是モ不備ノ一點デアラウト思ヒマス、各地方ノ情況ニ從ヒ適
當ノ方法ニ依テ人材ヲ會議所ニ選出スルノガ必要デアアルノハ無論デアリマス
ルガ、選舉方法ガ畫一ニ失スル爲ニ其土地々々ノ情況ニ適セヌコトモアルヤ
ウニ見受ケマス、是等モ改正ヲ必要トスル箇條デアリマス、ツレカラ外國人ハ
商業會議所ニ關係ヲスルモノデ有ルカ無イカト云フコトハ、現行法ノ規定ガ
不備デアアル爲ニ議論ノ餘地ガアリマシタ、併シ閣議ノ決定デハ外國人ハ之ニ
關與セヌモノデアアルト極ッテハ居リマスルガ、學說トシテハ隨分議論ガ有リ
得ルコトデアリマス、是等モ法律ヲ以テ判明ナラシムル必要ガアラウト考ヘ
マス、又監督規定モ頗ル不備デアアル爲ニ十分ナル監督ヲシテ參ル上ニ於テハ
遺憾ノ點モ多クアリマス、以上申上ゲマシタ通り現行法ノ不備トシ缺點トス
ル箇條ハ少クアリマセヌノデ、政府ハ之ヲ改正スル考ヲ以テ調査ヲ致シテ居
リマシタガ、獨り政府ノ之ヲ不備ト認ムルノミナラズ、各會議所ニ於テモ現
行法ハ不備デアアルカラ速ニ改正ヲシテ戴キタイト云フコトハ年々ノヤウニ建
議ヲ致シテ居ル、又法律上認メタモノデアアリマセヌガ、聯合會ト云フモノガ
アリマシテ、ソコデモ屢々問題ニナリ議決ヲ致シタ次第デアリマス、ソコデ
各會議所ノ建議モ十分ニ參酌ヲシ其意見ハ餘程多ク新法案ニ收ムルコトニ
致シマシタ、又政府ノ十數年間ノ經驗ニ依ッテ必要トスル所ヲ新法案ニ規
定イタシ、又獨り日本内地ノ情況ノミデハ不十分デアラウト云フ考カラ、

廣ク歐米諸國ノ實蹟ヲモ調査ヲ致シテ十分ニ考慮ヲ費シタ後、此新法案ヲ提出スルコトニナリマシタ、何分ニモ提出ノ時期ガ會期切迫ノ今日ニナリマシタノデ皆様ノ御苦勞ヲ煩ハシマスルノハ恐縮ノ次第デアリマスルガ、提出ノ後レタ所以ノモノハ十分審議ヲシタト云フコトガ重モナル理由ニナッテ居ルヤウナ次第デゴザイマスカラ、其邊ハ宜シク御推察ヲ願ヒマス、而シテ新法案ノ要項ニ付テ説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、先刻モチヨット申上ゲマシタ通り、所得稅ニ代フルニ營業稅ヲ以テシマシタ、而シテ其營業稅ニ付テモ少シバカリノ納稅額ノ人ハ省ク方其人ノ爲ニモ迷惑デナカトラウシ、又商業會議所ヲシテ商業一般ノ利益ヲ圖ル所ノ公共機關タラシムル實ヲ舉グル上ニ於テモ低イ人ヲ省クコトハ必要デアラウト云フノデ、是ハ土地々々ノ情況ニ依ッテ命令ヲ以テ其制度ヲ定メルコトニ致シマシタ、是モ適當ノ人ヲ商業會議所ニ舉ゲヤウト云フ主意ニ外ナラヌデアリマス、次ニハ選舉法ヲ全國畫一ニシテ置イテハ宜シクナイ、殊ニ今日ノ普通選舉デハ詰ラナイ運動トカ云フコトガ行ハレテ餘リ名モ知レナイヤウナ人ガ選舉サレルヤウナコトガアル、而シテ其人ガ熱心ニ會議所ノ事務ニ從事イタシマスレバマダ宜シウゴザイマスケレドモ、選舉ニハ熱心デアアルケレドモ當選後ハ最早熱心デナイト云フ有様ガアル、是等ハ適當ナル人物ヲ舉グルト云フ方法ガ缺ケテ居ルカラデアラウト思ヒマス、ソレデ複選舉ノ方法ナリ、或ハ階級選舉法ナリ、若クハ各種ノ業體ノ種類ニ依ッテ、例ヘバ銀行業者ノ團體カラ何人ノ議員ヲ選出スル或ハ保險會社ノ團體カラ何人ノ議員ヲ出ス、或ハ貿易商ノ團體カラ何人ヲ出スト云フヤウニ、各種ノ業體ノ類別ニ依ッテ各部カラ人ヲ出スト云フヤウニスルコトモ適當ト思ヒマス、又東京ノ如キ大阪ノ如キ所デハ選舉區ヲ設ケテ各區カラ選舉セシムルモ或ハ一ノ方法デアラウカト思ヒマス、其外投票ノコトモ或ハ記名投票ヲ用井ルトカ、或ハ無記名投票ヲ用井ルトカ、單記ニスルトカ、連記ニスルトカ云フヤウナ各種ノ選舉方法ハ、一律ニシテ置クヨリハ各地ノ情況ニ從ッテ定款ノ規定ニ依ッテ之ヲ採用シテ參ル、又同シ場所デアッテモ時勢ノ推移變遷ニ從ッテ從前ハ斯ウ云フ方法ヲ用井タガ今度ハ斯ウ改メルト云フ餘地モアル方ガ至當カト思ヒマスカラ、法律案ニハ色々ノ選舉方法ヲ用井ルト云フコトニ致シテ置キマシタ、是ハ畢竟人材ヲ舉ゲタイト云フ考カラデアアリマス、又特別議員ノ制度ハ現行法ニモアリマスガ、即チ商業會議所ガ選任スル特別議員ノ制ハ現行法ニモアリマスガ、之ヲ新法案ニ於テモ繼續スルデアリマスガ、其外ニ尙ホ地方長官ノ選任スル特別議員ヲ設ケヤウト思ヒマス、詰リ選舉ノ方法ヲ改良シテ適當ノ人物ヲ選出スル、其議員ガ相談シテ特別議員ヲ選ビ、尙ソレデモ漏レタモノガアリマスレバサウ云フ場合ニハ官選ノ議員ヲ以テ尙ホ足ラザル所ヲ補フ、要スルニ立派ナ人ヲ以テ商業會議所ヲ組織セシメタイト云フデアリマス、次ニ事務權限ノコトニ付テ申上ゲマスガ、先刻申述ベマシタ通り、現行法ノ規定デハ執行スルト云フ權限ヲ付與シテアリマセヌノデ、各會議所ト

モ不自由ヲ感ジテ居ル、又實際成績ヲ舉グル上ニ於テ遺憾トスル點ガアルト思ヒマスカラ、商業ノ發達ニ必要ナル施設ヲ爲スノ權能ヲ付與スル規定ヲ設ケマシタ、但シ會議所ノ隨意ニシテ置イテハ弊害ガアリマスカラ、豫メ政府ノ認可ヲ必要トシテ置キマシタ、ソレカラ會議所ハ從前モ海外貿易ノコトナドニ附テ相應ニ力ヲ盡シタヤウニ考ヘマスルガ、將來ハ一層此方面ニハ力ヲ盡サセタイト希望イタシテ居リマス、其ノ手段トシテ商品ノ產地ノ證明、價格ノ證明等モ營業者ノ希望ニ依ッテハサセタイ、是ハ從來外國人カラ能ク聞イテ參ルデアリマス、ソレデ東京ナリ橫濱ナリノ商業會議所カラ返事ヲ與ヘテ居リマス、或ハ神戸大阪等ニ於テモ同様デアリマスガ、是等ハ法律デ規定イタシテ置ク方ガ宜シカラウト思ヒマス、而シテ是等ハ營業者ノ希望ニ應ズルデアリマスカラ、相當ノ手数料ヲ徵收スルノガ穩當デアラウト思ヒマスカラ、其規定モ設ケマシタ、ソレカラ商業會議所ハ商業ニ關スル調査ヲスルト云フコトニ從前モナッテ居リマスルガ、自己ノ發意デ調査ヲスル止マラズ、政府ノ必要ト見ル所ハ進ンデ調査ヲ命ズルト云フコトニ致シマシタ、尙ホ營業者ノ依頼ニ應ジテ調査ヲシナケレバナラヌコトニ致シマシタ、次ニハ選舉權被選舉權ニ付テ申上ゲマス、商業會議所ノ法ハ公法デアッテ、會議所ハ公法人デアリ、公共機關デアアル、學說カラ申シマシテモ、選舉被選舉ノ權利ハ帝國臣民ニ之ヲ限ルノガ當然デアリマセウ、ノミナラズ實際ノ利害カラ申シマシテモ將來ハイザ知ラズ現今ノ所デハ外國人ハ之ニ關係ヲサセヌ方ガ御互ニ利益デアアラウト考ヘテ居リマスカラ、選舉權被選舉權トモ、帝國臣民ノ享有スル權利デアアルト云フコトヲ原則ト致シマシタ、ナゼ外國人ヲ入レヌ方ガ宜シイカト申シマスレバ、外國人ノ側ニナッテ考ヘマスルト、例ヘバ橫濱ナリ神戸ナリニ外國人ノミデ拵ヘテ居ル商業會議所ト唱ヘテ居ルモノガアリマスガ、是等ハ英國ナリ米國ナリニ行ハレテ居ルヤウナ任意設立ノ團體デアリマシテ希望者ノミノ集ッテ有志ノ團體デアリマス、然ルニ法律ニ依ッテ一定ノ資格アル者ハ是非選舉權ヲ有シテ而シテ經費ヲ負擔スルコトニナリマス、外國人ハ好マナイニモ拘ラズ其希望ニ反シテモ、其經費ヲ徵收セラル、コトニナリ、又選舉權モ持チ、從ッテ被選舉權ヲ持ツ、サウシテ當選ヲスル、其當選モ理由ナク斷ル譯ニハナラヌト云フノデ、隨分向フノ人ハ難儀ヲスルデアリマセウ、ノミナラズ日本人ト各國ノ人ト一堂ニ集ッテ御互ニ言葉モ通ゼヌデアリマスカラ、隨分不便デアリマセウ、詰リ今日外國人ガ自ラ商業會議所ヲ設立シテ居ル主意ニモ遠ザカルコトニナラウト思ヒマス、又日本人ノ側カラ考ヘマスルト殆ドソレト同様ナ譯デ、西洋人ト一所ニ集ッテ所デ、第一言葉モ通ゼズ相談ヲスルニモ不自由デアアル、又利害ノ關係ガ違フ、日本ノ開港場ニ於ケル日本商人ハ多ク日本ノ商品ヲ賣込ム方デアリマセウ、外國人ハ之ヲ買入レル側デアリマセウ、從ッテ利害ノ關係ガ相反シテ居ルト大體ニ於テハ見ルノガ適當デアリマセウ、利害相反スルモノヲ一堂ノ下ニ會サセテ雙方ニ共通ナル利益ヲ計ラセルト云フコトハ隨分難儀ナ話、

殊ニ商業會議所ハ日本ノ各地方ニ於ケル商業工業ノ利益ヲ増進サセルガ爲ニ
必要トシテ設ケルモノデアリマスカラ、外國人ノ利益ヲ圖ルコトヲ研究スル
必要ハ實ハ無カラウト思フ、ソレデ實際ノ利害カラ申シマシテモ、又會議所
ノ性質論カラ申シマシテモ、外國人ハ除外スルガ適當デアリマスカラ、明文
ヲ以テ帝國臣民ノ享有スル權利ト云フコトヲ規定イタシマシタ、ソレカラ現
行法デハ礦業權者ガ這入ッテ居リマセヌガ、是ハ加ヘル方ガ適當デアラウト
思ヒマス、例ヘバ福岡縣ニハ石炭ノ大キナ礦業者ガアリ、又越後ノ長岡ナドハ
石油ノ業ガ盛ンデアリマスガ、是等ノ礦業權者ヲ加ヘルト云フコトハ其地方
ノ商業工業ノ利益ヲ圖ル上ニ於テ必要デアリマシテ、又歐羅巴大陸諸國ニ於
テモ其事例ハ多イデアリマス、次ニハ大キナ會社ノ支配人モ取締役ト共ニ
選舉權ヲ有セシメル方ガ適當デアラウト思ヒマシテ、之ヲ加ヘマシタ、選舉ハ
本人自ラ之ヲ行フ原則ト致シマシタ、衆議院議員選舉法ノ如キ、或ハ府縣制
郡制町村制等ノ實例モ多クアルコトデアリマシテ、是ハ理論ニ照シテモ、又實
際ノ弊害ニ照シテモ、本人ガ之ヲ行フト云フコトハ適當デアラウト思ヒマ
ス、是マデノ實例デ見マスルト委任狀ヲ以テ選舉權ヲ行使セシメタ爲ニ非
常ナ弊ガアリマシタノデ、其弊ヲ矯メヤウト考ヘテ居リマス併ナガラ無能
力者デアルトカ、或ハ法人トカ、或ハ女子ノ如キモノニ付テハ彼ハ代人デ
シナケレバナラヌ、又是ハ代人デサセル方ガ便利デアラウト云フ爲ニ、斯ノ
如キ者ニ對シテハ代理ヲ許シマシタ、次ニ經費徵收ノコトニ付テ申シマス
ガ、先刻モ申上ゲマシタ通り、經費ヲ滯納シタ者ヲ如何ニ處分スルカト云フ
規定ガ現行法ニハ缺ケテ居ル爲ニ各會議所トモ大ニ難儀ヲ致シテ居リマスカ
ラ、此法案デハ市町村稅ノ如キモノニ準ジテ國稅徵收法ノ規定ニ依テ滯納處
分ヲサセヤウト云フコトニ致シマシタ、併ナガラ手數料トカ、或ハ其他實費
辨償ノ如キニ附テハ滯納處分ヲスルノハ不穩當デアルカラ、ソレハ民事訴訟
ニ讓ル方ガ宜カラウト思ヒマシタ、ソレカラ清算ノコトハ現行法ニハ規定ガ
アリマセヌデスガ、是ハ重大ナ事デアラウト思ヒマスルデ、法律ニ新ニ規定
ヲ設ケマシタ、ソレカラ監督ノ事ハ現行法ノ規定ガ不備デアリマスルガ爲ニ
本案デハ詳密ニ規定ヲ設ケマシタ、又大臣ノ職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任ス
ル道ヲ開イタ、ト云フノハ實際ノ便宜デアリマスルノデ、重要物產同業組合
法ノ例ニ依リマシテソレヲ設ケマシタ、選舉ノ事務ハ現行法デハ郡長市長ガ
監督スルコトニナッテ居リマスガ、是ハ少シ輕キニ失スル感シガアリマスル
ノデ、地方長官ガ選舉事務ヲ監督スルコトニ改メマシタ、又全國ニハ五十八
箇所モ商業會議所ガアリマシテ、中ニハ餘リ成績モ宜シクナシ寧ロ設立スル
時ニ十分注意ヲシナカッタ結果デアラウト想像シ得ル場所モアリマスルデ、
將來ハ此濫設ノ弊ヲ防グ爲ニ設立ヲ慎シ選舉權者三分ノ二以上ノ同意ガナ
ケレバ設立ノ認可ヲ申請スル譯ニ行カスト云フコトニ鄭重ニ致シマシタ、大
要ハ以上申上ゲマシタ次第デアリマス、尙ホ御質問ニ對シマシテ御答イタシ
マスルコトニ致シマス

○富田鐵之助君 唯今ノ御辯明デ大要分リマシタガ、其中御說明中ニ於テ少
シ伺フデ置キタイコトガアル、第一、商業會議所ハ法人トスト云フコトガゴ
ザイマスガ、此法人ト認メルノハ公法人ダカ私法人ダカ能ク分ラナイ、是ハ
ドッチニ屬スルモノカ、詰リ銀行會社ノ如キ、或ハ赤十字社ノ如キ、是ハ私ハ
私法人ト云フモノデハナイカト思フ、赤十字社ノ如キハ法人ニナリマシタニ
拘ラズ宮總裁殿下ヲ奉戴シテ居ルガ、私法人ニ相違ナイト思フガ、是ハドチ
ラニ屬シテ居ルモノデアアルカ

○政府委員(木内重四郎君) 御答イタシマス、此公法人デアリ、私法人デア
ルト云フコトハ學問上ノ稱號デアリマシテ、法律文ニハ唯法人、法律上人格ヲ
附與シタルモノデアルト云フコトニナッテ居リマスデ、私法人公法人ト云フ
明瞭ノ文字ヲ書キ分ケタ法文ハ、無イコトニナッテ居リマス、商業會議所ハ學
問上カラ申シマスレバ無論公法人デアリマス、即チ市町村ノ如キ、或ハ水利
組合ノ如キモノニ性質ノ似寄タモノデアラウト思フデアリマス、株式會社
ノ如キモノトハ性質ハ違フデアリマス、公法人ト規定スルコトハ立法ノ體
裁トシテ何處デモ規定シタモノハ無イデアリマス

○富田鐵之助君 其ハ其公法人トカ私法人トカノ規定ノ有ル無シヲ伺ッタノ
デハアリマセヌ、其精神ガ如何ナルモノデアルトカ云フコトヲ聞クデアリ
マス

○政府委員(木内重四郎君) 性質ハ公法人デアリマス、市町村ノ如キ水利組
合ノ如キモノモ同様、公法人デアリマス

○富田鐵之助君 市町村ノ公共團體トハ性質ハ違ッテ居リハシマスマイカ、或
一分部ガヤッテ居ル、市町村ハ下級行政廳デアアルデアアルカラ……

○政府委員(木内重四郎君) ソレハ市町村トハ同一デアアリマセヌ、公法人
デアルト云フ性質ニ於テハ同様デアリマス、此團體ノ作用權限ガ公法人タ
ル權力ヲ有シタモノデアアル、其點ニ於テハ株式會社ノ如キ私法人トハ異ッテ
市町村ノ如キ水利組合ノ如キモノニ類シテ居ル、經費ヲ徵收スル、賦課ヲス
ル、或ハ斯クノコトヲ命ズル權限ヲ持ッテ居ル

○富田鐵之助君 其次ニ伺ヒタイノハ、先刻御說明中ノ現今ノ法律デハ所得
稅ヲ標準ニシテ居ル、是ハ營業稅ヲ標準トスル積リダト云フヤウナ御說明ニ
承リマシタガ、サウスルト此處デ經費ト云フヤウハ稅デハナイト心得テ宜シ
ウゴザイマスガ、唯營業稅ナリ所得稅ナリヲ標準トシテ、ソレニ準ジタモノ
ヲ經費トシテ取立テルノデアアルデアリマスガ

○政府委員(木内重四郎君) 御答ヲ致シマスガ、此法案ノ第九條ニ斯クノ
ノ者ハ選舉權ヲ有スルト云フ規程ガアリマスガ、ソレハ商業ヲシテ居ッテ、
ソレカラ尙ホ營業稅ヲ納ムルト云フコトニ大體ハ定メテ居リマスガ、是ハ唯
資格ヲ定メタケデアッテ、商業會議所ノ經費ハ何ニ賦課スルト云フコトハ規
定シテ居リマセヌ、現行法ニ於テモ規定ガナイ、新法案ニ於テモ規定ガゴザイ
マセヌ、第三十條ニ於テ「商業會議所ノ經費ハ議員ノ選舉權ヲ有スル者ニ於

テ之ヲ負擔ス」ト云フコトヲ規定イタシタダケデ、ドウ云フ税ニ附加スルトカドウ云フ税ヲ標準トスルトカ云フコトハ法案中ニ規定シテ居リマセヌ、其方ガ却テ實際ノ便宜デアラウト考ヘテ居リマス、自然營業稅ノ附加ニモナルデアリマセウケレドモ、ツレハ賦課徵收方法ノ決議ヲ致シ農商務省ノ認可ガアツテ定ルモノデアリマスカラ、豫メ何ノ税ニ附加スルト云フコトハ法律中ニ定メテ置カヌ方ガ實際都合ガ宜カラウト思ヒマス

○富田鐵之助君 私ノ伺フノハ其點デハナイノダ、是ハ附加税ノ性質ノモノカ、唯營業稅或ハ所得稅ヲ標準ニ則ツテ是ダケノ金ヲ前ハ出セヨト斯ウ云フコトニ極ルノダカ、市町村ナドノ附加税ト云フ税ト云フコトニスルカシナイカト云フコトヲ伺フノデアリマス

○政府委員(木内重四郎君) 商業會議所ノ費用ハ公課デアアルノデスガ、税ト名ヅケルハ不穩當デアラウト思ヒマス

○富田鐵之助君 サウスルト營業稅ト云フモノハ例ヘバ富田ガ十圓納メルト云フコトガ分ッテ居レバ、其十圓ニ對シテ是ダケノモノト云フ標準ヲ極メルトデアリマス

○政府委員(木内重四郎君) ツレハ先刻モ御答ヲ致シマシタ積リデアリマス、商業會議所ノ賦課スル經費ハ公課デアリマスカラ税デナイト云フコトヲ申上ゲ、次ニハ營業稅ヲ標準トスルカ所得稅ヲ標準トスルカト云フコトハ、法律中ニハ規定ハ設ケテ置キマセヌ、現行法ニ於テモ規定ガナク新法案ニ於テモ規定ガアリマセヌ、經費ノ賦課方法ヲ議定スル際ニ何ヲ標準トスルカ、營業稅何割ト極メマスガ、一人別幾ラトスルカ、ツレ等ノコトハ賦課方法デ極メルトデアリマス

○富田鐵之助君 所ガ此規定ノ中ニハ納税ト云フ文字ガ大分見エテ居リマスカ、是ハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(木内重四郎君) 納税トアルノハ商業會議所ノ納税デアアリマセヌ、國稅ヲ納ムル即チ所得稅營業稅ヲ納ムルトカ取引所得稅ヲ納ムルトカ云フノハ資格ヲ定ムル上ニ於テ、必要ナル規定デアツテ斯ウ云フモノハ商業會議所ノ選舉權ヲ有スルゾト云フ選舉權ヲ附與スルトキノ標準デアリマス

○名村泰藏君 私ハマダ大體ノコトニ就テ御尋ネシタイコトガアリマスケレドモ、今ノ富田君ノ御問ニ就テ、又政府委員ノ説明デ、營業稅ヲ元トスル、營業稅ヲ納ムルモノガ選舉權ヲ持ツコトニナルト云フ御話デアリマシタカラ、ソレデ序ヲ以テ御尋ネ致シマスガ、此衆議院ノ修正ニ第九條ノ修正ノ所ニ於テ「所得稅ヲ納ムル帝國臣民」トサウスルト此所得稅ヲ納ムルト云フ者ガ營業稅ヲ納ムル者ヲ元トセラレタト云フコトデアラナラバ、此所得稅ヲ納ムルト云フコトハ不必要デアアルカト思ヒマスガ、ドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(木内重四郎君) 先刻大體ノ説明ノトキニ申上ゲマシタガ、現行法デハ此商業者ガ尙ホ所得稅ヲ納ムルト云フコトニナツテ居リマスカ、其所得稅ニ加フルニ營業稅ヲ納ムルト云フコトニ致シマシタノデ、悉ク營業稅

ヲ納ムルト云フノデハナイノデス、即チ第九條ノ第一項ノ一號二號ノ如キモノ、是ハ多數デゴザイマス、詰リ商工業者デアアルノデス、ツレ等ガ商工業者デアツテ且營業稅ヲ納ムルノガ必要デアアルト云フコトヲ大體申シマシタノデアリマス、三號四號ノ如キ者ハ取引所得稅ヲ標準トシ、礦業權者デアレバ礦業稅ヲ標準トシタノデアリマス、三項ノ取締役理事長理事若クハ支配人ノ如キハ營業稅ヲシテ居ラヌ、會社其モノハ商工業ヲ營ンデ居リマセウガ、役員ハ本人一個トシテハ何モ商業ヲシテ居ラヌノデス、併ナガラ是等ハ尙ホ商業會議所ノ選舉權ヲ與ヘ引續イテ被選舉權ヲ與ヘテ商業會議所ニ關係セシムル方ガ廣ク人材ヲ網羅スル點ニ於テ便利デアラウト思ヒマス、現行法ト異ツタ所ハ支配人ガ新ニ加ツタダケデアリマス、而シテ是等取締役支配人等ハ自分デ營業シテ居リマセヌカラ營業稅ヲ納メナイ、然ルニ衆議院ニ於テハ是等ノ者ニ對シ所得稅ヲ納ムルト云フ要件ヲ加ヘタイ、而シテ其所得稅モ東京ノ如キ所デハ三圓カ五圓グラ井ノ小額ノモノハ除外スルガ宜シイ、餘程高イ所ニ制限ヲ置クガ宜シイト云フ主意デアリマシタ、政府モ之ニ同意ヲ表シタ譯デアリマス

○富田鐵之助君 ツレカラマダ皆サンノ御邪魔ヲシテハナラヌガ、現今ノ所デ全國五十八箇所ノ商業會議所ニ於テ滯納ニナツテ居ル金高ト云フモノハ何ボデゴザイマスカ

○政府委員(木内重四郎君) 御參考ノ爲メ、東京ノハ三十二年度ノコトヲ申上ゲタイト思ヒマス、三十二年度ニ於テ東京ハ百五十圓、熊本ハ三十三年度ニ於テ三十三圓、富山ハ三十三年度ニ於テ二十三圓、岡山ハ三十三年度ニ於テ千八百圓、松江ガ三十二年度ニ於テ百十八圓、仙臺ガ同年度ニ於テ百五十八圓、福井ガ同年度ニ於テ十二圓、高岡ガ同年度ニ於テ三十三圓、前橋ガ同年度ニ於テ十一圓、金澤ガ同年度ニ於テ三十一圓、宇都宮ガ同年度ニ於テ四十二圓ト云フヤウナ有様デ巨額ノ滯納額デアアリマセヌ

○富田鐵之助君 繰返シテツレヲ伺ヒマス、其滯納シタ者ハ條例ノ第十九條ニ滯納シタ者ハ四箇年以上八箇年以下ノ議員ノ何ヲ停止スルト云フコトガアリマスガ、之ヲ行ツタコトガゴザイマスカ、ゴザイマセヌカ

○政府委員(木内重四郎君) 是ハ實行イタシタコトハアリマセヌ

○富田鐵之助君 ナゼ實行シナカッタノデアリマス

○政府委員(木内重四郎君) 必ズ停止マデシナケレバナラヌト云フ主意デモアリマセヌカラ……

○富田鐵之助君 ツレナラ唯コ、ニ持ッテ來テ今度ノ改正スル必要ガ無イト思ヒマス

○政府委員(木内重四郎君) 選舉權ヲ停止スルト云フコトハ其人ヲ懲戒スルト云フ主意デアリマスガ、懲戒スルヨリハ經費ヲ徵收スル方ガ會議所ニ於テハ必要デアリマス、而シテ各地ニ於テハ……

○富田鐵之助君 東京ノ會議所ハ四萬圓カラアル中ニ百五十圓不足ヲシタト

云フノデ、滞納處分ニ致シテ取ルト云フ必要ハナイト思ヒマス

○政府委員(木内重四郎君) 滞納處分ニスル必要ハ滞納處分ヲシテモ取ラルト云フ恐ヲ經費負擔者ニ抱カシテ置ク方宜イ、サウセヌト舉テ滞納シマス云フト一文モ取レヌ場合ガアル

○富田鐵之助君 舉テ滞納スル場合ハ會議所ハ要ラヌ場合デ、ソレハ潰レルノデ……

○政府委員(木内重四郎君) 滞納ガ殖ルコトモアリ得ルノデ……

○武井守正君 前ハ連記デアッタノヲ昨年カラ單記ニナッテ居ルガ、連記ト單記トノ結果ガドウ云フ御感ジニナッテ居リマス……

○政府委員(木内重四郎君) 是等ノ選舉方法ニ付テハ各地ノ情況ニ依ッテ一様デナカラウト思フ、又ドレガ宜シイト云フコトハ豫メ法律デ決定シテ置クノハ宜シクナイト思フ、ソレデソレノ地方ノ希望ヲ參酌シ、又地方ノミニ任シテ置ク譯ニモイキマセヌカラ、コチカラスウスル方ガ宜シイト云フコトモ場合ニ依ッテハ言ヒマスルガ、ドレガ宜シイト云フコトハ今決メテ申上ゲ兼ネルト思ヒマス

○武井守正君 各地ニ於テハドウデモ宜イガ、東京市ハ非常ナ弊害ヲ皆見テ居ル譯デヤガ、主務者デハ其弊害ヲ御覽ニナッテ分ラヌデスカ

○政府委員(木内重四郎君) 弊害ヲ見テ居リマスカラ選舉方法ヲ改メタイト云フノデス

○武井守正君 然ルニ連記ト單記トハ……

○政府委員(木内重四郎君) 連記ト單記ト云フコトハ勿論小問題デアラウト思フ

○武井守正君 小問題デナイト思フカラ伺ウノデ、連記ト單記トドチラガ宜カッタトカ、惡カッタトカ云フ御感ジハ無カッタノデスカ、今日ノ所デハ……

○政府委員(木内重四郎君) 單地ト連地ト利害ハドウダト云フコトハ更ニ考ヘテ申上ゲテモ宜シイノデアリマス、唯今政府ガ商業會議所選舉法ニ付テ弊害ガアルト云フノハ普通平等ノ選舉方法ニ定マア居ルノガ宜シクナイト思フ、ソレデ三圓ノ所得稅ヲ納ムル者モ或ハ百圓ノ稅ヲ納ムル者モ等シク同一ノ選舉權ヲ持ッテ居ル、利害ノ重大ナル關係ヲ持ッテ居ル者モ關係ノ少イ者モ同ジ選舉權ヲ持チマスカラ是ハ利害關係ノ少イ多數ノ者ガ運動ヲシテ却ッテ勝利ヲ制スルト云フコトハ往々各地ニ見ルコトデアリマスカラ斯ノ如キ弊ヲ矯正スルニハ複選ナドハ無論宜シイ方法デアラウト考ヘル、併ナガラ複選法ニ極メテ仕舞フト云フコトハ弊ガアルカモ知レマセヌカラ階級選舉ナリ其他ノ方法モ設ケヤウト云フ考ヘデス、選舉法ハ複選トカ階級選舉トカニスレバ、大イニ時弊ヲ矯正スルデアラウト思ヒマスガ、投票ノ單記デアルトカ連記デアルトカ云フコトハ寧ろ各種ノ選舉方法ノ中ノ極ク重大ナ問題デハナカラウト思ヒマス

○名村泰藏君 今武井君ノ御問ニ依ッテ御答ガアリマシタガ、東京デヤッテ居ッ

タ所ノ選舉方法ト云フモノハ連記ガ又單記ニナッタノデスカ、連記ガ變ッテ單記ニナッタ、是ガ甚ダツレニ付テ利害得失ガ餘ホドアッタニ相違ナイ、ソレガ小問題デアッテ、サウシテソレノ利害ヲ御調ベニナッテ居ナイト云フ、ソレハチヨット、私共甚ダ分ラナイト云フコトヲ申上ゲルヨリ外ニナイ、今日マデ行ッタ所ハドンナ所デアッタカト云フト、單記或ハ連記デアアル、デ單記連記ニ付テノ利害ガ分ッテ居リマスルナラバ、ソレハ是ダケノ何デアアルガ、複選ニスルトカ或ハ階級ニスルトカト云フ御説明ガナケレバ我々一向分ラヌト申上ゲテ宜イ其邊ヲ少シ詳シク御答ヲ願ヒマス

○政府委員(木内重四郎君) 御答イタシマスガ、單記連記ノ實蹟ハハッキリドチラデアアルカト云フコトハ御答ヲ仕兼ネル

○名村泰藏君 ソレデハ主務省デハ單記連記ノ利害ハ分ラナイケレドモ……

○政府委員(木内重四郎君) 御答ヲ致シマスガ、ソレハアナタノ御議論デア

ルカ存ジマセヌガ、薄弱ナル考ヘヲ以テ本案ヲ輕卒ニ提出シタノデハアリマセヌ

○名村泰藏君 併シ其利害ヲ御説明ガナイモノデスカラ全クサウ考ヘル

○富田鐵之助君 ソレカラ先刻御説明ノ中ニ外國人ハソレニ入レナイ、入レナイ方ガ却ッテ宜カラウト云フヤウニ縷々御説明デゴザイマシタガ、私ハ甚ダ鎖國主義ヲ採ルト云フコトハ此商業會議所ハ面白クナイト思フ、今貨幣ハ共通ナモノダトカ又ハ經濟ト云フモノハ貨幣ヲ重シナケレバナラヌモノデア

アル、總テ今日雜居ト云フコトニナッテ居ルノニ、其者ヲ入レズシテ唯日本人ハ日本人バカリ寄ッテ居ルト云フコトハ貿易上非常ナ關係ヲ持ッダラウト思フ、總テ國ヲ開イテ行ク以上ハ先ヅ害ノ無イ所カラ成ルタケ一緒ニシテ行カ

ナケレバナラヌモノデ、外國人ハマルデ孤立ニサシテ置クト云フコトハ日本ノ商人ノ爲ニ宜クナイコトデアラウト思フ、貿易上甚ダ宜シクナカラウト考

ヘル、殊ニ横濱ノ如キハ外國人ガ商業會議所ト云フモノヲ立ッテ居ル、是ハ矢張り立ッテ仕事ヲシテ居ルガ、アレ等ハドウ云フ風ナ處分ニナリマスガ、政

府ハ潰シテ仕舞フト云フヤウナ御考デアアルカ

○政府委員(木内重四郎君) 御答イタシマスルガ、ソレハ鎖港攘夷ノ精神

デ此法案ヲ編製シタノデハアリマセヌ外國人ハ無論調和ヲシテ御互ニ出來ルダケ歩ミ合フ附ケテ行クト云フコトガ外國貿易ヲ進メル上ニ於テ無論必要デアリマセウ、ソレデ横濱ナリ神戸ナリ外國人ガ設立シテ居リマスル商業會議所ト云フモノハ是ハ任意ニ立ッテ居ルノデ、之ヲ法律ヲ以テ處分ヲシタリ、解散ヲ命ズルトカサウ云フヤウナ考ハ政府ハ有ッテ居ラヌデアリマス、外國人ハ外國人ノ中デ有志ノ者ガ集ッテ商業會議所ト云フコトニ向テ名ヅケテ居ルノデアリマス、ソレハアルノハ宜シクナイト云フコトハナイ、寧ろ宜シカラウト思フ、併シソレ等ヲ日本ノ法律ノ中ニ是非加ヘルト云フト、向ノ人ガ大變難儀スル、又コチラモ迷惑ヲスル、雙方共ニ迷惑スルト云フコトハ實際上、事實明

日デアアルノニ、尙ホ且ツ之ヲ入レマスルノハ向ウヲ優待スルガ如ク見エテ向
ウハ非常ニ難儀イタシマス、ソレデ外國人ノ立テ、居ル商業會議所ト日本ノ
法律ニ據テ立テタ所ノ商業會議所ト交渉話合ヲ能ク附ケテ商業上ノ紛議ナ
ドノ場合ニ雙方カラ相當ノ人ガ出テ話合ヲシ、ソレカラ又日本ノ商業會議所
ニ仲裁ヲ求メルト云フヤウナコトハ結構ナコトデ將來モサウ云フコトニ致サ
セタイト思フテ居ルノデス、ソレデ此法律中ニ外國人ヲ入レナイコトヲ主義
トシマシタノハ向フノ利害ヲ考ヘテヤッテモサウデアアルシ、日本ノ商人ノ利
益ヲ考ヘテヤッテモ入レヌ方ガ宜カラウ、モウ一ツ外國ノ例モ皆サウデアリ
マス、被選舉人ニ外國人ハ入レテ居ラヌノデス、普偏西ナリ或ハ其他ノ國ニ
シマシテモ、詰リ其國ノ商業ニ關スル公益ヲ謀ル公共ノ機關デアアルカラ、之
ニ關係スル者ハ其國ノ人民ニ限ルト云フコトハ理論上モサウアルベキコトデ
又事實ニ於テモ其方ガ便利デアアルカラデアリマセウ、却テ外國人ガ難儀ヲ
スルノデアリマス

○富田鐵之助君 成ルホド外國人ヲ入レヌ所モアリマス、併ナガラ此商業會
議所ハ御説ノ通り任意ニ立ッテ居ルノハ、英吉利ニモアリ、亞米利加ニモアリ
マスガ、大陸ニ至ッテハ殆ド政府ノ機關トナッテ居ル所モアレバ、サウデナイ
所モアル、是ハ一樣ニ此商業會議所ノミ一律ニ私ハ見ルコトハ出來ナイ、詰
リ其國ノ國情ニ依ッテ是ハ立ッテ來タモノニ相違ナイト私ハ考ヘル、日本ナド
ハ是カラ外國ノコトヲ學バナケレバナラヌデアアル、是ガ成ルホド役人ニス
ルトカ、或ハ團體ト言ッテ帝國議會ノ議員ト云フヤウナコトニナッテ其資格ガ
無イト云フコトハ是ハ仕方ガナイガ、元ト商業ヲ致ス人ガ此商業ニ付テノ便
利ヲ謀ル爲ニ集合スル團體デアアル、雜居シテ居ル人ヲソレニ入レルコトガ出
來ナイト云フ法律ヲ作ルト云フコトハ私ハ甚ダ望マナイノデ、迷惑ヲスルト
云フ御話ガゴザリマシタケレドモ、コチラガ迷惑トシナケレバ喜ンデ這入ル
ダラウ、向ウハ迷惑ヲスルコトハ無カラウト思フ、マア今日ノ所デ法律ガアッ
タ所ガ、東京ニ居ル外國人ナント云フ者ハ誠ニ僅ノ者デゴザイマスカラ、這
入リモシマスマイケレドモ、併ナガラ若シ多ク來タト云フコトニナッタトキ
ニスウ云フ法律ヲ拵ヘテ置クノハ甚ダ穩デナイ、ソレカラ政府ガ一地區内ニ
一ツシカ置カナイト云フノニ外國人ノ拵ヘタモノハ、幾ラ拵ヘテモ一向差支
ハ無イ、ソレハ矢張り商業會議所トシテ政府ガ認メテ居ルト云フコトニナッ
テハ國ノ法律ト云フモノハ立タナクナッテ來ルダラウト思フ

○政府委員(木内重四郎君) ソレハ私ノ説明ガマダ足ラナカッタと思ヒマス
カラ更ニ説明ヲ致シマスガ、外國人ガ日本ノ法律ノ此商業會議所條例ニ從ッ
テ選舉權ヲ有シ經費ヲ負擔シ、又被選舉權ヲ有スルコトニナルノヲ好マヌト
云フコトハ想像ノ話デハ無イ、能ク實際ノ事實ヲ研究シタル結果カラ申上デ
ルノデアリマス、横濱ニ居ル外國人、横濱ハ最も多ク西洋人ガ來テ居ルカラ
横濱ニ附テ申上デマスルガ、先年神奈川縣知事ガ商業會議所ニ附テ改正條約
實施後、外國人ハ這入ルカ這入ラヌカト云フコトニ付テ農商務省ト照會シ

タル際、外國人ノ設立シテ居ル商業會議所トモ交渉ヲシ、其他有力ナル外國
人ト交渉ヲシ、又横濱ニ居ル日本ノ重モナル商人ト交渉ヲシタコトガゴザイ
マス、其時ドウモ一緒ニナルコトハ希望セヌ、若シ一緒ニナルト云フト最前
申上デマシタ通り外國人ノ方デハ否デモ應デモ經費ヲ負擔シナケレバナラ
ヌ、ソレデ日本語ノ分ラヌ西洋人モ居ラウ、ソレガ日本人ト一緒ニナッテ相
談スルコトハ事實出來ナイコトデアリマス、ソレデ外國人ガ今マデ法律ニ據
ラヌデ設立シタモノ……日本語ニ翻譯スレバ商業會議所ト名ツクヘキモノ
ガ從前ノ如ク商業會議所條例ニ於テ極ッテ居ル名稱ヲ依然持ッテ居ッテハ濫稱
ニ涉ルデアラウカラ、是ハ名稱ヲ改メテ統計協會トデモ稱ヘヤウト向ウデハ
申シテ居リマス、日本人ノ側デ見マスルト横濱ニ於テ若シ是ガ競爭ニデモナ
リマシタナラバ、中以下ノ方デハ日本人ガ多イガ中以上デハ外國人ノ方ガ多
イ、サウスルト向ウガ團結デモスルト日本人ハ一人モ出ナイヤウニナル、若
シ軋轢競爭ヲスレバサウ云フコトガアラウ、又サウ云フ競爭ハ無イト假定シ
テ雙方カラ平穩ニ選舉ガアッテ大體半々出マシテモ日本人ノ方デ困ルノハ、日
本ノ商人ノ利益ヲ謀ル相談ヲスル會デアアルノニ、外國人ガ出テ來ル、而シテ
利害ノ點ニ於テ彼此相反スル、賣ル人ト買フ人トハ利害ガ反スルト言ハナケ
レバナラヌ、ソレデ其利害ノ異ッタ者ヲ一緒ニスルコトハ相談ガ纏マラナイ
本デアアル、斯ウ云フコトヲ日本人ハ言ッテ居ル向ウノ人モ言ッテ居ル、ソレデ
現行法ノ下ニ於テモ又此新法案ガ通ッタ後ニ於テモ外國人ガ任意ニ設立シタ
モノハ法律上ノ商業會議所ト政府ハ認メナイ、唯外國人ノ重モナル人ガ集
テ居ルカラ商業上ノ紛議トカ其他ノ事柄ニ付テ其團體ニ向ッテ私ニ話ヲスル
ト云フ便宜ハアルノデアリマス

○富田鐵之助君 ドウモ外國人入ルベカラズト云フ門札ヲ掛ケテ置クト云フ
コトハ私ハ甚ダ賛成シナイ

○政府委員(木内重四郎君) ソレハ外國人ヲ排斥スル意味デハナイ、向フモ
困ル、此法律ガ若シ外國人ガ這入ルコトニナレバ選舉權モ持タナケレバナラ
ヌ、經費モ負擔シナケレバナラヌ、ドウシテモ一定ノ資格ガアレバ經費ヲ負
擔シナケレバナラヌノデスカラ、サウスレバ向フガ迷惑スルコトハ見エテ居
ル

○富田鐵之助君 併シ日本へ來テ商業ヲ營ム者ハ日本ノ法律ニ從フト云フコ
トハ承知シテ居ル、ソレハ向フガ知ッテ居ラナケレバナラヌ

○名村泰藏君 私ハ政府委員ニ御手數ガ掛ッテ甚ダ御氣ノ毒ニ存シマスケレ
ドモ、一體全國ニアル所ノ商業會議所ニ付テ今日マデ大ニ疑ヲ存シテ居ルノ
デアリマス、或ハ商業會議所ト云フモノハ一向用ヲ爲サナイト云フコトヲ聞
クコトモアリ、又場所ニ依ッテハ聊カ利益ナイデモナイト云フコトヲ聞イテ
居リマスガ、全體ノ商業會議所ノ上ニ付テ自分ガ見ルコトモ出來ナケレバ何
スルコトモ出來ナイ、商業會議所ノ情況ト云フモノハドンナモノデアアルカト
云フコトハ明ニスルコトハ今日マデハ出來ナイ、ガ多クハ非難ノ聲ガ高クッ

テ利益アルト云フ方ハ少ナイ、マア東京ニシテモドウモ餘リ評判好ク承リマセヌガ、全國悉クノ御説明ヲ願フト云フ譯ニモ行キマスマイガ、大體ノ情況ヲドウカ御手數ナガラ御説明ヲ願ヒタイ、斯ウ希望イタシテ居リマスノデス

○政府委員(木内重四郎君) 商業會議所ノ成績ハ、單リ商業會議所ニ限リマセヌ、何事ニ付テモ殆ド同様デアルト思ヒマスガ、見ル人ニ依リマシテハ非常ニ之ヲ利益アリ、好成績アリトスル者モアリ、又人ニ依ッテハ殆ト利益ナイモノデアアル、一向役ニ立タヌモノデアルト云フコトハ、是ハ人々ノ見方ニ依ッテ一様デハナカラウト思ヒマスガ、政府ニ於テハ全國ニ在ル多數ノ商業會議所ガ悉ク皆立派ナ成績ヲ擧テ居ルトハ申上兼子マスケレドモ、其中ノ重モナル會議所ハ商業ノ發達ノ爲メニ相當ノ有益ナル事業ヲシテ居ルト考ヘテ居リマス、例ヘバ法律ノ改正ヲスルトカ、或ハ廢スルトカ云フトキニ輿論ノ先導者トナッテ、其議論ヲ唱ヘル、或ハ其地區内ニ居ル商業者ニ向ッテ自分ノ調査シタ所ノモノヲ知ラセテヤッテ之ヲ誘導スルト云フヤウナコトハ相當ニシテ居ッタモノト認メテ居リマス、而シテ其一二ノ例ヲ申上ゲマスレバ、明治三十一年ニ各地ノ會議所カラ郵便條例ノ中デ小爲替ノ制限ヲモット下ゲタイト云フテ出タ、從前ハ一番低イ所ガ三十圓デアリマシタノヲ遂ニ商業會議所ノ議論ナドガアリマシタ末、小爲替ガ五圓ト云フコトニナリマシタ、是等ハ會議所ガ實際ニ役ニ立ッタ一例デアラウカト思ヒマス、ソレカラ又手形ノ作成要件ニ付テモ議論ガ會議所カラアリマシテ、署名ニ代フルニ記名捺印ヲ以テスルト云フコトニナリマシタ、又三十三年ニ産業組合法ヲ發布致シマシタガ、其前年ニ各地會議所カラ信用組合法ヲ制定シテ貫ヒタイト云フ建議ガ續々出タノデアリマス、其他加奈陀ノもととりれるニ領事館ヲ設置スルトカ、或ハ地租増徴トカ或ハ衆議院議員選舉法ノ改正トカ云フヤウナモノニ付テ、各會議所カラ建議ニナリ、又事實其建議ノヤウナ主意ニ改ッテ參ッタノデアリマス、又家屋稅法案ノコトニ付テ各會議所カラ反對ガアッテ遂ニ之ヲ撤回ニナッタト云フ事實ガアル、ソレカラ日本ノ郵船會社ノ航路補助金延期ノコト或ハ興業銀行ノ設立ヲ速ニシテ吳レト云フコトナドニ付テモ各會議所カラ意見ヲ上申ニナッタ次第デアリマス、ソレデ大體ニ重モナル會議所ト世間ニ認メラレテ居ル所ノモノハ相當ナ有益ナ事ヲシテ居ルト政府ハ認メテ居ル

○富田鐵之助君 是ハ逐條ニ涉ッテカラ伺ッテモ宜イノデアリマスケレドモ、序デスカラ伺ッテ置キマス、此十五條ノ「地方長官ハ議員定數ノ五分ノ一ヲ超エサル特別議員ヲ命スルコトヲ得」ト云フコトガゴザイマス、先刻ノ御説明ニモアッタデスガ、此議員ト云フモノハ資格ノ無イ者デモ構ハヌデ御選任ニナルノデスカ

○政府委員(木内重四郎君) ソレハ十五條ノ本項ニアリマス「年齡三十歲以上ノ帝國臣民タル男子ニシテ商業工業ニ關スル學術、技藝又ハ經驗アル者」是ダケノ資格デ必ズシモ其人ガ營業シテ居ルニハ及バヌ

○富田鐵之助君 或ハ相當ノ經費ヲ納メナクテモ宜イ、納メル資格ハ無クト

貴族院商業會議所法案委員會議事速記録第一號

明治三十五年三月二日

モ宜イノデスカ

○政府委員(木内重四郎君) サウデス

○富田鐵之助君 誰デモ詰リ宜イ譯デスカ、役人デモ宜イデスカ

○政府委員(木内重四郎君) サウデスガ、併シ是ハ役人ヲ入レルト云フ主意デ出來テ居ルノデアリマセヌガ、解釋上役人モ這入ル

○武井守正君 先刻伺ッタノハ大層利害ノ關係ガ多イカラ私自ラ伺ウノデスガ、逐條ニ入ッテカラデモ宜イガ、一體連記ノトキト單記ニナッテカラト政府ノ御覽シル所デハ、ドッチガ好イ人物ガ出タト御認メデスカ

○政府委員(木内重四郎君) 今其御質問ニ答ヘルノハ隨分難儀デアリマスガ、ドウ云フ譯デサウ云フ御質問ヲナサルノデスカ

○武井守正君 ソレガ選舉法ニ大變關係ガアルト思ヒマシタカラ伺ヒマス

○政府委員(木内重四郎君) 其事ハ後トニ願ヒタイモノデス

○武井守正君 ソレナラサウシマセウ

○藤田四郎君 チョット此文字ノコトデ伺ッテ置キマスガ、二十二條ニ「又ハ議員ト代表者トヲ兼ヌルコトヲ得ス」トアリマス、是ハ何カ斯ウ云フ書方ノ例ガアリマスカ、是ハ投票權ヲ持タセナイト云フ意味デセウナ、議會ニ這入ッテ……

○政府委員(木内重四郎君) 是ハ一人デ二ツノ議員ニナルト云フコトハ不都合デアリマス、ソレ規定ヲ致シマシタ、即チ會社ノ取締役ガ九條ノ三項ニ依ッテ選舉權ガアリ、從ッテ又被選舉權ガアッテ當選シタ、又其會社モ當選ヲシタト云フ場合ニ、同シ人ガ會社ノ代表者トモナリ、又自分自ラモ議員デアルト云フコトハ宜シクナイト云フノデアリマス

○藤田四郎君 分リマシタ

○名村泰藏君 今藤田君ノ御問ガアリマシタカラ、私モ同ジ様ナコトヲチョット御尋ネ致シマスガ、第十一條ニ「一人ニシテ同一商業會議所ノ議員ノ選舉ニ關シ二以上ノ選舉權ヲ有スルコトヲ得ス」是ハ個人トシテ二ツハ入ル、コトガ出來ナイト云フ意味デゴザイマセウネ

○政府委員(木内重四郎君) 御答イタシマスガ、一人ノ人ガ九條ノ一項ノ一號ニ當ル營業ヲシテ居リ、又四號ニ當ル營業ヲシテ居ル、又ハ三項ノ取締役モシテ居ル、ドノ資格デモ選舉權ヲ有スルノデアリマスガ、二ツモ三ツモアルカラト云ッテ一ツ以上ノ選舉權ヲ有スルコトハ出來ヌト云フコトヲ規定イタシマシタ

○名村泰藏君 一人デ二ツハ出來ナイト云フコトハ分ッテ居ルガ、唯茲デ御問ヒ申シタイノハ一個人デ自分ノ選舉權トソレカラ二十二條ノ代表者トナリ、自分ノ選舉權ト法人ノ代表者トナッテ出ルコトハ差支ナイカ、斯ウ云フ事ヲ御問ヒスル積リデアリマス

○政府委員(木内重四郎君) ソレハ差支アリマセヌ

○名村泰藏君 自分一個ト代表者ニナルコトハ差支ゴザイマセヌカ

七

○政府委員(木内重四郎君) 投票スル時ハデスナ
○名村泰藏君 個人トシテハ二以上ハナラヌ、法人ト個人トナラバ相兼ネテモ宜シイ、斯ウナツテ來ルノデスカ

○政府委員(木内重四郎君) 御答イタシマスガ、十一條デハ選舉權ヲ一人ガ一ツモ二ツモ三ツモ持つコトハ出來ヌ、選舉權ハ單一デアル、複數デナイト云フコトヲ十一條ハ規定シタノデアリマス、ツレカラ法人ナリ無能力者デアルト、是ハ本人自ラガ選舉權ガアツテモ行使スルコトガ出來ナイカラ代理人デスル、選舉權ヲ持つノト行使スルノトハ違フ、一人デ選舉權ヲ一ツ以上持つコトハ出來マセヌガ、自分ノ選舉權ヲ行使スルノトハ代理人者トナツテ、人ノ持つテ居ル選舉權ヲ代人トナツテ行使スルノトハ問題ガ違フノデアリマス

○名村泰藏君 問題ガ違フト仰ッシャイマスガ、此十一條デハ二以上ハ出來ナイ、出來ナイケレドモ二十二條ノ代表者トナツテ出ル時ニハ二以上ヲ行フコトハ出來ル……

○政府委員(木内重四郎君) 左様デハゴザイマセヌ、是ハ二十二條ノ方ハ當選シタ後ノコトデス、代表者ト云フノハ投票スルコトデハナイ、選舉權ノ行使ニアラズシテ當選シタ後ニ議員トナツテ其會議所ノ事務ニ參與スルコトヲ謂フノデアリマス、一人ノ人ガ郵船會社ノ代表者ニモナレバ保險會社ノ代表者ニモナルコトハ出來ヌト云フコトヲ規定シタノデアリマス

○名村泰藏君 ツレデ分リマシタガ、絶對的ニ一人デ二以上ハドウシテモ持テナイト云フ譯ニナツテ仕舞フノデスナ

○政府委員(木内重四郎君) サウデス、唯選舉スルトキト、二十二條ノハ選舉後當選後ノ代表者デアリマシテ、二十一條ニ議員タル法人ハ其代表者ヲ定ムルトアツテ其人ガ一會社ノ代表者トナツタナラバ、ツレダケニセヨ、二ツモ三ツモ會社ノ代表ヲスルコトハ出來ヌト云フコトヲ二十二條ハ規定シタノデアリマス

○富田鐵之助君 此二十八條デスガ、茲ニ「會頭一人」トアツテ副會頭ハ何人トモアリマセヌガ、是ハ二人トカ三人トカ或ハ若干トカ云フ文字ガ無イト少シ分リマセヌガ……

○政府委員(木内重四郎君) 御答イタシマスガ、是ハ近頃ノ文例ニナツテ居リマシテ、若干名ノ場合ニハ書カナイ、一人トカ二人トカ極メタ場合ニハ書キマスガ、若干ト云フコトハ定款ニ任セテ此處ニハ書カヌト云フ近時ノ例ニナツテ居リマス

○富田鐵之助君 サウ云フ例ガアレバ何デスガ、ツレカラ三十一條ノ二項ニ「前項ノ收入ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得」斯ウアリマスガ、帝國臣民デ民事訴訟ヲ起スコトガ出來ナイト云フ何ガアリマスガ

○政府委員(木内重四郎君) 御答イタシマス、是ハ三十一條ノ一項ニアリマスル此使用料手数料ノ徵收若クハ實費償價ニ付テ之ヲ納付セザル者ガアツタ時ニハドウスルカ、國稅徵收法ノ規定ニ依ツテ滞納處分ヲ行フカ、或ハサウ

デナクシテ債權トシテ民事裁判所ヘ訴ヘルモノデアルカト云フコトハ、疑問ノ餘地ガアツテハ之ヲ執行シテ行ク上ニ於テ不都合デアリマスカラ、是ハ滞納處分ヲ行フモノデハナイゾ、民事訴訟ニ行クモノデアルト云フコトヲ規定シタノデ、是ハ例モアリマシテ河川法ノ五十五條デスガ三項ニ「此ノ法律若ハ此法律ニ基キテ發スル命令ニ依リ公共團體ニ於テ負擔スヘキ費用ニ關シテハ此ノ法律ニ於テ特ニ民事訴訟ヲ許シタル場合ヲ除クノ外」云々、ツレカラ六十一條ニ「三箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得」トアリマシテ、サウ云フ場合ニハ民事訴訟ヲ提起スル場合ト國稅徵收法ニ依ツテ滞納處分ヲスル場合ト書分ケラレタトキニハ、殊更ニハツキリスル爲ニ斯ウシタノデ、先例ガアリマスカラ其先例ヲ申上ゲマシタ

○富田鐵之助君 ドウモ當然取ルベキ手数料ヲ取ル、或ハ實費ノ辨償ヲ爲スト云フ場合ニツレヲ拂ハヌト云フ場合ニ滞納處分ヲヤラウト云フヤツハ何處ニモアルマイドウウシテモ民事訴訟ノ外ハナイ、ツシナコトヲ間違ヘルヤウナ商業會議所ハ駄目デスナ

○政府委員(木内重四郎君) 商業會議所ガ間違ヘルノデハナイ、裁判所ガ間違ヘルカモ知レマセヌ

○富田鐵之助君 裁判所ガ間違ヘルコトハアルマイ、此處ニモ古イ判事が居ルガ……

○政府委員(木内重四郎君) 併ナガラ一人ノ判事デハゴザイマセヌカラ……
○藤田四郎君 十五條、是ハ言葉ヲ開イテ置クノデスガ、第十五條ノ三項ニ「特別議員ハ決議ニ加ハルコトヲ得但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス」是ハ一體特別議員ヲ政府ガ、地方長官ガ五分ノ一ヲ超ヘザルダケ命ズルト云フコトデアレバ、ドチラカニ極メテ置イタ方ガ宜カラウト思フ、何か違フコトガアリマスガ

○政府委員(木内重四郎君) 御答イタシマス、是ハ現行法ノ十七條デハ特別議員ハ其議決ニ加ハルコトヲ得ナイコトニナツテ居ツテ、會議ニ參列シテ發言スルケレドモ決議ニ加ヘヌト云フコトガ現行法ノ主義ニナツテ居リマスガ、新法案デハ其ハ良クナイ、決議ニ加ヘル方ヲ原則トスル主義デ此規定ヲ設ケマシタガ、併ナガラ是マデハ發言ダケ決議ニ入レナカッタ習慣ガアリマスカラ、地方ノ事情ニ依ツテハ決議ニ加ヘナイト云フノヲ望ム場所モアルカモ知レマセヌカラ、定款ニ之ヲ定メ得ルト云フ例外ヲ設ケマシタ

○高橋新吉君 今ノ十五條ノ「別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス」ト書イテアルガドウ云フ場合デゴザイマスガ

○政府委員(木内重四郎君) 即チ或會議所ガ定款ヲ以テ特別議員ハ發言スルノミデ決議ニ加ツテハナラヌト云フ規定ヲスルコトガ出來ル、サウ云フ規定ノアル場合ニハツレガ即チ別段ノ定デアリマシテ其時ニハ加ハルコトガ出來ナイノデアリマス

○高橋新吉君 サウスルト矢張り勅選議員が權力ヲ減シラレルヤウナモノデアリマスネ

○政府委員(木内重四郎君) 從來ハ決議ニ加ハラナカッタノデアリマスカラ、ソレガ變ル際ニ於テハ場所ニ依テソレダケノ餘地ヲ存シテ置テ方ガ適當デアラウト考ヘマス

○名村泰藏君 此三十一條ノ使用料ト云フモノハドンナモノヲ御取リニナリマスカ

○政府委員(木内重四郎君) 是ハ商業學校トカ或ハ商品陳列場トカ云フヤウナ營造物ヲ設ケルコトガ現行法ニモアリマス、又新法案ニモアリマス、サウ云フ營造物カラ使用料ヲ取ルノハ當然デアラウト思ヒマス

○名村泰藏君 ソレデハ其營造物ヲ建テ、其商業會議所ガサウ云フ財産ヲ拵ヘナケレバ此使用料ト云フモノヲ取ル場合ハ無イデスナ

○政府委員(木内重四郎君) 使用料ヲ取ル物ガ無ケレバ取レマセヌ

○名村泰藏君 ソレカラ手數料ト云フヤウナモノガアリマスガ、一箇年ドノ位、東京アトリデ收入ニナリマスカ

○政府委員(木内重四郎君) 是マデ手數料ヲ徵收シタコトハアリマセヌ、此法案デ新ニ取ラウト云フノデアリマス

○名村泰藏君 是マデモアリマシヤウデスガ……

○政府委員(木内重四郎君) 是マデ商業者ノ間ニ紛議ヲ生ジタ其時ニ裁判所ニ訴ヘルノハ費用モ掛リ時間モカ、ルカラ仲裁ヲ商業會議所ヘ依頼スルト云フ場合ナドハ相當ノ手數料ヲ取リ得ルト云フコトニナッテ居リマスガ、事實ハ徵收シタ實例ハアリマセヌ

○名村泰藏君 今マデノ定款ヲ見マスルト何デスナ、定款ノ七十二條ノ中ニ徵收金ニ手數料寄附金雜收入繰越金ト斯ウ云フ科目ガ立ッテ居リマスカラ、幾ラカ此手數料ヲ取ッテ居ルダラウシ、又全國ノ商業會議所モ矢張り此手數料ト云フモノヲ取リ居ッタニ相違ナイデスガ、ソレノ御調ハアリマセヌデゴザイマスガ

○政府委員(木内重四郎君) 御答イタシマスガ、定款ニハ手數料ノ規定ガアリマス、例ヘバ五圓ヨリ五十圓マデト云フコトガアリマスガ、事實ニ於テハ徵收シテ居ラナイノデゴザイマス

○藤田四郎君 ドウデゴザイマセウ、大分御質問モゴザイマシタガ、大體ノ御議論ガアレバ大體ノ御議論ニ就テ御決シ下サイマスナリ、又ハ逐條ニ這入ルナリシテ下サリマスコトハ出來マセヌカ、大分五十箇條モゴザイマスカラ、スカラ、之ヲ成立タストシマシテモ隨分手間モ取レマセウト思ヒマスカラ、願クハ御進ミ下サルヤウニ……

○委員長(伯爵坊城俊章君) ソレデハ總體ノ御質問ガ終リマシタラバ逐條ニ依テヤルコトニ致シマセウ、別段總體ノ質問ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵坊城俊章君) ソレデハ是ヨリ逐條ニ移ッテヤリマセウ、チヨツト此間十分間ホド休憩イタシマス、餘リ長ウナリマシタカラ……

午後二時十五分休憩

午後二時四十五分開會

○委員長(伯爵坊城俊章君) チヨツト諸君ニ御諮リイタシマスガ、大分此間題ハ長イ案デモゴザイマスシ、且ツ色々諸君ノ御見込モアルヤデゴザイマスカラ、既ニ今日ハ時刻モ大分過ギマシテゴザイマスカラ、今日ハ此儘ニ致シマシテ、尙ホ又明日開クコトニ致シマス、其間ニ御考案ヲ願フコトニ致シマス、左様御承知ヲ願ヒマス明日ハ午前十時カラ開會イタシマス、今日ハ是デ散會イタシマス

午後二時四十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵坊城 俊章君

委員

子爵青山 幸宜君 子爵永井 尙敏君

富田 鐵之助君 藤田 四郎君

高橋 新吉君 田中 源太郎君

國務大臣

農商務大臣 男爵平田 東助君

政府委員

農商務省商工局長 木内重四郎君

名村 泰藏君
武井 守正君

明治三十五年三月四日印刷

明治三十五年三月五日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局